

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20R4
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: ICT・電子デバイス、ものづくり分野
研究開発課題名	: ナノカーボン光源を搭載した万能型分析チップ開発
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 牧 英之(慶應義塾大学)

評価結果の総合所見

本課題は、従来は困難であった新たな分野への応用や、簡便で汎用性の高い分光装置の実現に向け、独自のナノカーボン光源を用いた赤外分光技術の開発を目指すものである。

目標に対して期待以上の成果を上げており、企業との共同研究やスタートアップへの展開も進んでおり、イノベーション創出が大いに期待できる。

赤外分光の時間・空間分解能を大きく塗り替えるものであり、従来のハロゲンランプからこのグラフェン光源への置き換えが期待できるなど、日本初の技術として、ものづくり現場にも大きく貢献できるものと高く評価できる。今後も、光源の特長を生かした新たな分野への適用拡大を期待するとともに、国内だけでなく国際的なプレゼンスをいっそう高めていただきたい。

以上